

自由民主党 吉川市議員団国報

Vol.39

発行：自由民主党吉川市議員団

発行責任者：松崎 誠

発行日：令和3年1月10日

連絡先：<http://www.jimin-mirai.jp/>
<http://ameblo.jp/jimin-mirai/>

謹賀新年



あけましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

平素より自民党吉川市議員団に温かいご指導といつも変わらぬご支援を頂きまして心から感謝申し上げます。

昨年1月には市議会議員選挙が執行され、5人の議員で会派を立ち上げました。また、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、市政全般に亘って全力で取り組みをさせて頂きました。そんな中、市立第二保育所の建て替え開所、6月になって吉川中学校の開校等、私たちは、市が抱えている様々な課題に対して、市民の皆様から頂いた貴重なご意見・ご要望に真摯に耳を傾け皆様と一緒に、これからまちづくりを続けてまいります。引き続き自民党吉川市議員団にご支援賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶と致します。

自由民主党吉川市議員団一同

12月定例会 条例改正4件、人事案件2件、補正予算8件 全てにおいて可決。

第8回12月定例会が11月30日から12月14日までの15日間で開催されました。市長から提出された議案は条例改正4件、人事案件2件、補正予算8件、契約3件、財産の取得1件、その他3件で計21件でした。主な内容として、人事院勧告の趣旨を踏まえ、市長・副市長・教育長の期末手当の引き下げ、市職員の期末手当の引き下げの各条例改正。また、議会議員の期末手当の引き下げの条例改正が議会運営委員会委員長から上程され、期末手当の基準日である12月1日より前に条例を施行するため開会日当日、3議案が審議され全員賛成で可決されました。令和2年度一般会計補正予算では、江戸川堤防強化対策事業により、堤防用地となる市道等の売却収入、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等が上程され、感染症対策として高齢者へのインフルエンザ予防接種に対する委託料の増額や社会福祉協議会、子ども発達センター、少年センターの相談環境を感染症対策に考慮した施設へと改修する費用が計上されました。

ひとり親世帯への臨時特別給付金（基本給付の再支給について）



ひとり親家庭では、非正規雇用労働者の割合が高く収入が少ないなど、もともと経済的基盤が弱く厳しい状況にある中で、その生活実態が依然として厳しい状況にあることなどから、年末年始に向け、給付金の基本給付（第2次補正分）の支給者世帯に対して、再度、同様の基本給付（再支給分）の支給を実施するものです。

ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業

事業総額：4084万2千円

対象世帯数：472世帯

支給金額：一世帯5万円、二人目以降1人につき3万円

支給日：令和2年12月24日支給

その他の主な補正予算

予防接種事業 1897万6千円

インフルエンザの予防接種委託料

公民館施設管理事業 5276万3千円

公有財産購入費 公民館東側駐車場(162台)の用地購入

学校管理運営事業 398万円

小中学校の安全・安心メールシステムの導入

教育指導推進事業 50万円

報償費 吉川中学校校歌作成謝礼

令和2年12月 吉川市議会定例会 一般質問

赤出川義夫議員 吉川小学校通学路の安全対策と越谷吉川線押ボタン式信号を

問 吉川小学校通学路のグリーンベルト設置など視覚で訴える安全対策を

答 グリーンベルトの設置は、歩行者の安全確保や通学路としてドライバーに認識させる手段として有効と考えるが、交通量や道路幅員、今後の県道工事終了後の道路形態を見極め安全対策に努めます。



問 越谷吉川線の栄町1327・1360間の横断歩道と押しボタン式信号を使用頻度の低い、武蔵野線北側の高富ガード近くの押しボタン式信号を移設してはどうか。

答 平成30年に警察と移設の可能性について協議したが移設に至らず、吉川橋開通後の交通状況を踏まえ引き続き警察に対し協議や要望を行う。

問 吉川橋両側の副道に対しての街灯をポール1本で道路と副道両方を照らせないか。

答 街灯は工場で製作中のため形状変更できないので、街路灯の完成後に現場の状況を把握し対応したい。



松崎 誠 議員 安全安心のまちづくりについて

問 野田橋付近の交通渋滞解消への取り組みとして東埼玉道路と浦和野田線の整備について、私たち自民党会派では、菅内閣発足後、内閣府副大臣に就任した三ッ林裕巳副大臣と副大臣室で「地方財源の充実に向けた国施策に対して」9項目からの要望書を届け意見交換してきました。東埼玉道路と慢性的な野田橋付近の交通渋滞解消のためには野田橋の架け替えを含む浦和野田線の4車線化の早期完成が望まれており早期着工と予算要望をお願いしてきたところです。そこで現在、市はどのような要望活動をされていて、また、市としての考え方は、について伺います。



答 浦和野田線の早期完成を図るため4市1町で構成する建設期成同盟では毎年、埼玉県、千葉県への要望活動を行っています。また、令和2年度からは国交省、財務省に対しても要望活動を行ってきました。また、令和元年度に新規事業化が発表された東埼玉道路についても当市の経済発展はもとより災害時の復旧活動や物資輸送等、重要な役割を果たすものと考えており引き続き関係機関に要望活動を積極的に行ってまいります。

吉川敏幸議員 大場川拡幅工事に仮橋の設置を

問 三輪野江地区にある戸井橋西側の大場川の拡幅、護岸工事について、工事期間中、仮橋設置の予定は。

答 市が行う無名橋の架け替え工事は、既存の橋の取壊し工事、橋の下部工事、橋の上部工事と取付道路工事にそれぞれ1年の合わせて3年の工事期間を予定しており、この期間は橋の通行が出来ない状況となる。上下流ともに約900メートルの所に橋があり、仮橋は設置しない方針である。

問 仮橋の設置費用、市の負担額は。

答 概算だが、全体で2400万円。県と負担割合を検討していて市の負担額は約1640万円になる。



東埼玉資源環境組合第二最終処分場跡地をどうするのか

問 東埼玉資源環境組合第二最終処分場跡地をボッチャや車椅子バスケ・ラグビーが出来る屋内施設や要望が多いグランドゴルフが出来るコースの設営をと考えるが、現状と今後は。

答 組合と協議・調整を図りながら、市が主体となって検討していくことになる。市民の意見を聞くなどの機会、スケジュールは現在未定である。



松崎 誠

団長
議会運営委員会 委員長
文教福祉常任委員会



吉川 敏幸

副団長
文教福祉常任委員会 委員長
議会運営委員会
議会広報委員会 委員長
吉川松伏消防組合議会議員



赤出川 義夫

会計
総務水道常任委員会 副委員長
議会広報委員会



中嶋 通治

吉川市監査委員
建設生活常任委員会



加藤 克明

議長
総務水道常任委員会
東埼玉資源環境組合議会副議長